

(仮訳)

接受国通報

CH-46 飛行隊を MV-22 飛行隊に改編

これは、CH-46 飛行隊を MV-22 飛行隊に再指定することによる飛行隊更新のための海外部隊構成変更 (OFSC) 接受国通報 (HNN) である。これらの飛行隊は、日本の沖縄に司令部を置く第 3 海兵機動展開部隊の一部である第 1 海兵航空団に前方展開される。この部隊レベルの更新は、日本における米国のプレゼンスを大きく変更するものではない。この構成変更は、また、普天間飛行場の要員及びその家族について大きな変更を与えるものではない。

米海兵隊は世界規模で CH-46 を MV-22 ティルトローター機に換装する過程にあり、普天間飛行場においては、機体を 1 機ごとに MV-22 ティルトローター機へと更新し、CH-46 を退役させる。CH-46 と同様に、MV-22 は MAGTF に対する中型輸送支援能力を提供することになる。

CH-46 飛行隊 HMM265 は、12 機の MV-22 及び適切な支援要員を得て、普天間飛行場における最初の MV-22 飛行隊 VMM-265 となる。部隊の移行が完了し、任務を実行するため十分な数の航空機並びに熟練したパイロット及び整備員を有する完全運用能力 (FOC) の獲得は、2012 年 10 月初旬と見積もられる。

CH-46 飛行隊 HMM-262 は、1 年後 (2013 年夏) に、普天間飛行場における 2 番目の MV-22 飛行隊 VMM-262 となる。